

活用事例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	見る（みる）⑥・・・場面を提示	
対象授業科目/活動	道徳	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>○道徳において場面提示を映して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・資料のすべてを最初から提示しないことで、各自が考える設定とする。</li> <li>・・・ワークシート資料の続きを、スライド（keynote）で提示することで、その後の発問につなげていく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用タブレット・・・iPad</li> <li>・使用アプリ・・・keynote、iText Pad（縦書き用）</li> </ul>	
評価、振り返り（活動の評判や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初からその後のことがわからないので、集中して考えることができた。</li> <li>・画面をみんなで見ながら考えるので、意見が出しやすかった。</li> </ul> <p>という感想が多くみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・続きの資料を配付する時間も短縮できてよい。という参観した先生方の意見もありました。</li> </ul>	
ICT活用により期待できる効果 ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示により、展開のきっかけが作りやすい。</li> <li>・スライドで提示することでできた時間を考えさせたり、意見を出させたりする時間にあてることができる。</li> </ul> <p>※keynoteでは縦書きができないため、iText Pad（縦書き用）を使って作った文章をスクリーンショットで画像化し、貼り付けることで解決した。</p>	